

●毎月の検査室だよりはHPにも掲載しています。http://www.palcoop.or.jp/au_ji/anzen_kensashitsu.html
●放射能検査の取り組みは http://www.palcoop.or.jp/radioactiv_lab/index.html



商品検査室だより

2月度

果物の防カビ剤
について



Q 輸入果物の一部に「防カビ剤使用」の表示がありますが、安全性に問題は無いのですか？

A 人体への影響はありません。
防カビ剤のうち、チアベンダゾール(TBZ)やイマザリルなどは、かんきつ類への使用が食品衛生法にて認められています。これらは、いずれも1日摂取許容量(※1)を大幅に下回るように使用基準(※2)が定められ、安全性が確保されています。

また防カビ剤の使用方法は、果皮に塗布するので、果肉の中にはほとんど浸透しないと考えられます。

生協では、左記の防カビ剤2品について独自に基準を設け(※3)、検査室にて理化学検査を行い、問題がないことを確認し商品を企画しています。

※1 人間が毎日一生摂取し続けても健康に何ら悪影響が出ない量

※2 使用基準→チアベンダゾール(TBZ) かんきつ類: 10mg/kg
イマザリル(IMZ) かんきつ類(みかんを除く): 5mg/kg

※3 独自基準→「使用制限添加物」とし、輸入かんきつ類に限り使用を認めています(現状では、有用性が高く、代替できる食品添加物がないため)

〈1月度検査状況(14.12.21~15.1.20)〉 【商品検査のとりくみ】 商品検査数 1,206件 (前年同月945件)

検査の種類	検査件数	注意品	内容と結果
微生物検査	869	7	注意品については再検査、継続調査を実施しましたが、商品回収・人体危害にかかわる不適合はありませんでした。
残留農薬検査	40	なし	問題ありませんでした。
理化学検査	218	なし	注意品については再検査、継続調査を実施しましたが、商品回収・人体危害にかかわる不適合はありませんでした。
残留放射能検査	77	なし	生鮮・一般食品を検査し、全て検出はありませんでした(検出限界値は各20ベクレル/kg)。
外注検査に出したものの	2	なし	問題ありませんでした。

【商品の相談受付状況】 356件(前年同月449件)
人体危害(腹痛下痢、スキントラブルなど)での、複数発生商品ははありませんでした。

組合員たちの声

パルコプでは、組合員のみなさんから寄せられた声を、商品や運用の改善にいかすとりくみをしています。ホームページでもご覧ください。
<http://www.palcoop.or.jp/blog/koe/>

自動注文登録商品が
自分で取り消しできます

3月3回
より

自動注文をオススメされ「いいな」と思うのですが、自分で止めたいときに注文書などで自分で取り消しできたらいいのに…。



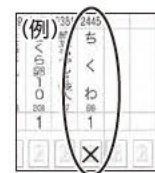
【回答】 「自動注文は、商品の注文忘れがなくなって良かった！」というお声をいただいている反面、「止めたいと思った時に取り消しの手続きが不便」というお声もいただいていた。来週3月3回より、注文書・eフレンズ(インターネット注文)の画面から組合員さん自身で取り消し(ストップ)できるようになりました。自動注文に興味のあった組合員さんも、この機会にぜひお気軽に始めてみてください！
(商品部 企画担当)

今回の件を組合員さんにお伝えすると、「わざわざ聞いてくれてありがとう。自動注文を試してみたかったから、一回やってみようかな」とおっしゃっていました。



生野個配センター
配送担当 やまがみ 山上さん

取り消し(ストップ)方法



注文書では
〈注文書おもて面〉
「自動注文欄」にある、止めたい商品名の下の注文数欄に「×(バツ)」を記入

eフレンズでは
トップ画面の「自動注文の取り消し」から、止めたい商品の登録取消ボタンを押す

